

みず

No.37
道彩展機関紙

道彩展機関紙“みず”第37号
発行 北海道水彩画会
道彩会代表 小堀清純
札幌市西区発寒5条8丁目
13-24-1101号
年1回発行



<http://www.ne.jp/asahi/so-bi/net/dousai/>

第40回記念

道彩展を終えて

2021年9月15日
9月20日
札幌市民ギャラリー

ヴァラエテイー に富む

道彩会代表 小堀清純

第40回記念道彩展は一六二点の作品が搬入され、厳選した一〇八点を展示。緊急事態宣言下の開催であったが入場者数約八〇〇人を超え無事に終了し、ほっとしています。審査は活発な意見を交わす中、無記名投票で実施しています。応募者は減少しているが多様な表現と具象・抽象系、細密描写、大胆な画面構成等ヴァラエテイーに富む作品が多く充実した展覧会となり好評でした。道彩展の傾向として写実画より主観に趣をおいた感性を生かした作品が多いがオーソドックスな透明水彩画も歓迎しています。

今回は記念展（五年毎）であり、図録を作成しましたので大いに活用して頂きたい。課題となっている応募者の減少の問題については各人が真剣に出品を勧誘するよう行動するのが急務だと思います。

最後に会員・会友が競い合い、観る人に感動を与える作品を描くよう頑張ります。

第40回記念道彩展受賞者

道彩展記念大賞

原 貴子（石狩）

北海道知事賞

伊勢 幸久（札幌）

札幌市長賞

若杉 博丈（札幌）

札幌市教育長賞

林 明夫（苫小牧）

北海道新聞社賞

島田 光宏（札幌）

八木賞

鷹橋 淳治（札幌）

伸子賞

宮下眞理子（札幌）

奨励賞

滝沢 慶子（滝上）

加藤 政史（札幌）

齊藤 利朗（札幌）

表谷美智子（江別）

福島 明子（札幌）

会友努力賞

石井 慶子（江別）

佐藤 亜子（札幌）

会員推挙

片瀬 恵子（江別）

軽部 進（北広島）

佐藤千津子（紋別）

馬場恵美子（札幌）

馬場 結香（札幌）

宮武 輝久（江別）

会友推挙

林 正行（札幌）

加藤 政史（札幌）

表谷美智子（江別）

亀倉安規子（札幌）

松山 頌子（札幌）

新たな発展の兆しに 満ちた道彩展

新道展会員 グループ環会員
香取 正人

今年40周年を迎えた道彩展に心からお祝い申し上げます。

その積み重ねの成果とも言える多彩な作品群を、うまく展示し観客の動きにも十分に配慮された会場構成により、じっくり鑑賞をすることができた。

水彩画と言っても表現方法はさまざまで、多様化した絵の具の理解や他の画材の併用など、自分の制作に必要な方法を見つけ、習熟することが要求される。この会場でも多彩な表現の工夫が見られ、それらが会場の活気になっていると思われる。

個々の作品にふれてみたい。先ず40回記念大賞の原貴子は大胆な筆使いと深みのある色彩で対象を捉えているし、知事賞の伊勢幸久は複雑な地形を見事な



「穀物のあるテーブル」原 貴子



「静寂」石井慶子

構図と配色で重厚な風景に仕上げている。一方で市長賞の若杉博丈、教育長賞の林明夫、伸子賞の宮下眞理子は透明水彩の澄んだ色調を生かした表現で、爽やかな画面を見せている。

いずれも水彩絵の具を効果的に使いそれぞれの感動を表現しようとする意欲が感じられた。

道新賞の島田光宏は塗り重ねた重厚な色調で厳しい自然を描き出しているが、遠景の扱いにもうひと工夫が欲しい。八木賞の鷹橋淳治も、もう少し丁寧な描き込むと、建物の重厚な質感や歴史などが表現できたと思う。

会友推挙の林正行の樹木の描写が面白い。画面上部の構成を工夫すると更に樹木の迫力がでると思われる。同じく会友推挙の亀倉安規子の落着いた雰囲気、松山頌子の強烈な色調と筆使いによる明快な画面にも魅かれた。

他に奨励賞の福島明子、青山まみ子の素直で丁寧な描写にも描く楽しさを感じる。

会員では、小堀清純、林田理栄子に視点の良さや表現技術の確かさが見られ、中田やよひ、川上睦子、寺西牙子など水彩の色調を生かした抽象表現も良質



「紫陽花の頃」宮下眞理子



「公園・噴水」福島明子



「ひまわり」表谷美智子



「流水群」佐藤千津子

な雰囲気を感じる。糸塚章子の柔らかい色調と線描は新たな表現への試みなのか今後が楽しみでもある。

水彩絵の具は身近な画材でもある。その親しみのある画材を使って、更に多彩で奥深い表現世界を見ることがこの会の大切な役割でもある。

今後とも、この会が水彩を楽しむ多くの人々に親しまれ、発展することを期待して止まない。

受賞者の声

原 貴子

この度はこのような高い賞を頂き本当にありがとうございます。静物画は静物で始まって深く追求があります。絵の色彩はメリハリをつけたり塗り塗り返して修行のようです。今後絵の幅を広げていきますので宜しくお願い致します。

若杉 博丈

一昨年、一念発起して風景画教室に入会し数十年振りに絵筆を持った。野外に画架を立て、天候の変化の中で悪戦苦闘し写生の難しさを実感したが、自然界の色の移ろいに敏感になり生活が豊かになった気がする。初出展で40号に挑戦したものの、私の透明水彩技法による制作は難航を極めた。選外の運河二点は苦悩の末の作品です。

三作目は、木漏れ日を浴びた明治の学舎と楡の古木の美しさを描いたが、光の明暗と空間の流れの表現を意図した。幸運にも受賞し、先生の助言と先輩の激励に感謝します。心が感じることを描ける様に、歳を重ねても感性を磨きたく思います。

林 明夫

樽前山麓に住むMさん宅を度々訪問しているのですが、たまにま繕いものをしていて薪ストーブの上に大鍋がかかっている。ふとこれは「母さんが夜なべして」の歌を思い出して、若い人には死語に近いのでしようが、懐かしい雰囲気を感じ絵にしたい作品にしました。公募のことは内緒でしたが受賞したので伝えたいところ「罰金だ!!」と、でも内心嬉しいのだと直感しました。絵画的には暖味な室内光をどうしたら良いのか、いろんな光を感じるの難しです。人のいる情景が好きです。今後も外連味のない水彩画を目指して頑張りたいと思います。

有難うございました。



2021 40回記念道彩展
図録販売中 ¥2,000 (税込)
購入希望の方は事務所 (糸塚) までご連絡ください。

第13回 研究会

9月18日に予定していましたが講演会は感染症の拡大防止対策のため中止させていただきます。一年前にも中止せざるを得ず、今年こそ開催を楽しみにしていただけに残念でなりません。実施予定だった講演会は「絵は色と形」という興味深いテーマでお話ししていただく予定でした。

講師の西村一夫先生は、道版画協会と道展の会員として活躍されており、芸大3年生からイランへ遊学し感性を磨き、帰国後多くの個展を日本各地やニューヨークで開催するなど積極的な取り組みをしています。

第41回道彩展 作品公募

- 会期 2022年8月17日(水)～8月21日(日)
 - 会場 札幌市民ギャラリー
 - 搬入 2022年8月13日(土) 10:00～18:00
- <http://www.ne.jp/asahi/so-bi/net/dousai/>

'21 行事計画

第41回委員会友展

2月22日(火)～2月27日(日)

ギャラリー大通美術館

研究会 内容未定

第41回道彩展

8月17日(水)～8月21日(日)
札幌市民ギャラリー
搬入：8月13日(土)

道彩会地区展

函館展 未定
江別展 未定

来年は市民ギャラリーの改修工事のため、搬入・会期共に早くなりますのでお間違いないように準備をお願いします。

道彩展に関するお問い合わせ

- 道彩会事務所 糸塚 章子
札幌市東区本町1条6丁目7-11
(011)782-5781
- 函館地区連絡所 寺岡 弘子
函館市西旭岡町2-23-3
(0138)50-2611
- 江別地区連絡所 中島 恭代
江別市野幌若葉町46-31
(011)385-4217

おみやみ

高橋 欣也さん(会員)
2021年6月逝去
ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

昨年中止された道彩展ですが、治まらないコロナ感染症にも負けず、又猛暑の中制作に励まれた出品者の熱意が伝わり無事開催できたことをうれしく思います。毎年出品数が少しずつ減っていますが、描く事、観る事の楽しさを広めていきたいものです。発行にあたりご協力頂いた皆様に感謝致します。嶋倉・渡辺